

# 自営業・フリーランスなどの みなさん!

## 国民年金基金

と

# iDeCo

個人型確定拠出年金(イデコ)

## 長い老後に備えましょう。

### 人生100年時代

日本人の寿命は年々延びており、  
男性の4人に1人、  
女性の2人に1人が  
90歳以上まで生きる時代と  
言われています。



### ゆとりのある 老後のために

国民年金基金やiDeCoに加入することで、  
自営業やフリーランスなどの  
国民年金第1号被保険者のみなさんの年金を、  
「2階建て」にすることができます。

準備されて  
いますか?



第1号被保険者  
(自営業・フリーランスなどの方)



第2号被保険者  
(会社員・公務員などの方)



# 国民年金基金

一生涯受け取れる終身年金が基本。  
長い老後に備えられます。

## 掛金額

加入時の年齢や性別、  
給付のタイプ・口数によって決まります。

●掛金額は、払込期間終了まで一定です（加入口数の変更がない場合）。

## 給付設計等

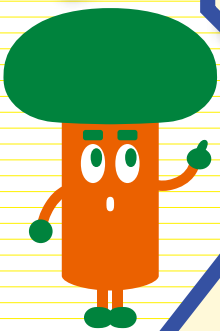
加入時に決めた給付のタイプ・口数で、  
将来の受取額が決まります。

- 給付の種類は、終身年金に必ずご加入いただくことで（1口目）、原則65歳から生涯にわたって年金を受給できます。
- 2口目以降は、終身年金と確定年金（5年、10年、15年）から選ぶことができ、またライフプランに合わせ、加入口数を自由に増減できます。

## 受給開始年齢

原則65歳からとなります。

- 公的年金より早く（60歳から）受給できるタイプもあります。
- 加入者の方が万が一亡くなったときは、ご遺族に遺族一時金が支給されます（一部の給付のタイプを除く）。



# iDeCo

自分で積み立てて、自分で育てる年金。  
公的年金に上乗せできます。

## 掛金額

月々5,000円から始められ、1,000円単位で自由に設定できます。

- 自営業から会社員や専業主婦（夫）になった場合でも、原則、掛金の拠出を継続することができます。

## 給付設計等

ご自身のニーズに合わせて、受け取り方や運用商品を選ぶことができます。

- 受け取り方は、年金（5～20年）、または一時金から選択します。  
〔年金と一時金の組み合わせができるプランもあります。〕  
〔また、終身年金が選択できる運用商品もあります。〕
- 預貯金、投資信託、保険など、運用商品の組み合わせや配分をご自身のニーズに合わせて決めます。

## 受給開始年齢

原則、60～75歳までの間で選びます。

〔加入期間が10年未満の場合、受給開始可能年齢が最大65歳まで、繰り下がります。また、60歳以上で初めてiDeCoに加入した方は5年を経過した日から受給できます。〕

- 公的年金より早く受給することもできます。ただし、60歳前に途中で引き出すことは原則できません。
- 加入者等の方が万が一亡くなったときは、ご遺族に死亡一時金が支給されます。



# 加入の メリット

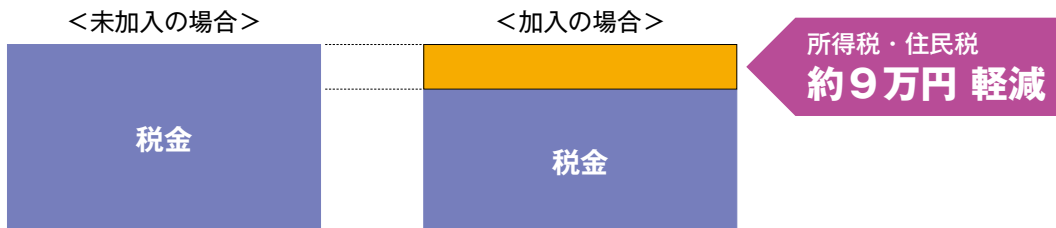
## 3つの税制優遇

### 拋出時

掛金は全額が所得控除の対象のため、**所得税・住民税が軽減**されます。

※ 国民年金基金は**社会保険料控除**、iDeCoは**小規模企業共済等掛金控除**

(例) 課税所得400万円の方が、年間30万円拋出する場合



所得税及び復興特別所得税の合計税率を20.42%、住民税率を10%として計算

### 運用時

運用中は**非課税**です。

※ iDeCoの運用資産に対する特別法人税は、課税が停止されています。

### 受給時

受け取る年金は、**公的年金等控除**の対象となります。

※ iDeCoを一時金で受け取る場合は、退職所得控除の対象となります。

## 国民年金基金 と iDeCo

**両制度へ同時に加入することも可能です。**

※ただし掛金は、両制度の合計で月額68,000円が上限です。  
(どちらか一方の制度のみ加入する場合でも、掛金は月額68,000円が上限となります)

各制度に関する詳細は

下記お問い合わせ先、各制度のパンフレット、国民年金基金連合会HP、iDeCo公式サイトでご確認ください。



国民年金基金連合会HP



iDeCo公式サイト

国民年金基金・  
iDeCoに  
関するお問い合わせ